



NPOあっぱれ大賞：年間情報発信スペース

子育て応援プロジェクト☆パイン News

このコーナーは昨年度のNPOあっぱれ大賞に輝いた団体に授与した年間情報発信スペースです。今年度1年間(6回発行分)情報発信を支援します。

参加者が心待ちの夏の恒例イベント パインの夏祭り☆こども縁日のご報告

子育て応援プロジェクト☆パインは、今年も8月に「パインの夏祭り☆こども縁日」を開催しました。「親子・家族が地域交流を通じて夏の楽しいひとときを過ごせるように」という思いで取り組む大人気のイベントです。今年のテーマは「思いっきり！ハワイ！」。子育て中でなかなか旅行に行けない親子に、ハワイ旅行の気分を満喫してもらいました。特に子どもたちも参加するフラダンスチームのショーは、時には軽快に、時にはしっかりと魅力的に踊る姿が印象的で、観覧していた子どもたちも立ち上がって大興奮でした。他にも、パインのスタッフ手づくりのおもちゃで遊んだり、ママたちの得意分野を生かした出店で楽しく交流することができました。今後は親子だけでなく、地域の1人暮らしのお年寄りやご家族も気軽に参加できる場にしていきたいと考えています。来年はどんなテーマの夏祭りになるか、お楽しみに！



「パインの夏祭り☆こども縁日」は赤い羽根共同募金による市民活動助成事業の助成を受けて運営しました。

Tel 080-9289-1536 (酒井) Mail kosodatepine@gmail.com

子育て パイン 検索 ブログをチェック!
http://ameblo.jp/projectpine



松阪地域の市民活動 情報紙 アロマ

発行…偶数月/2,500部
設置場所…市内及び県域公共施設等
皆様からの市民活動情報をお待ちしております。

NPO支援のためのおススメ講座情報

9月 普通救命講習(修了証あり)

日程 9月29日(土) 13:00~16:00

定員 20名程度 内容 心肺蘇生法 AEDの取扱い方等
※お早めにお申込みください。

参加費 無料 ※参加にはお申込みが必要です。

申込締切 9月22日(土)



10月 モチベーションアップ講座

日程 10月26日(金) 10:00~12:00

定員 20名程度 講師 NPO法人Mブリッジ代表理事・キャリアコンサルタント 米山 哲司
※お早めにお申込みください。

参加費 登録団体→無料 一般→2,000円
※講座の収益は地域のNPO支援に活用します。

ワークブックを活用し「仕事や地域活動を主体的に関わることは」を手に入れてもらいます。使用したワークブックはそのままプレゼントいたしますのでお仲間とご活用ください。産官学民のどの立場の方でもご参加いただけます。お気軽にどうぞ。

松阪市市民活動センター

TEL 0598-25-3801 (各種予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803

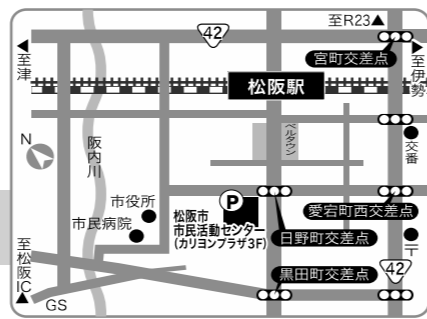
Mail katsudou@ma.mctv.ne.jp HP http://www.katsudou.com

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜～土曜日/10:00～22:00
松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

市民活動情報サイト(予約確認) http://matsusaka.genki365.jp



本紙は、再生紙と環境にやさしい植物性インキを使用しています。



松阪地域の市民活動 情報紙 アロマ

発行 松阪市市民活動センター

aroma No.78

a resident of Matsusaka activity 発行: 2018年8月

目次

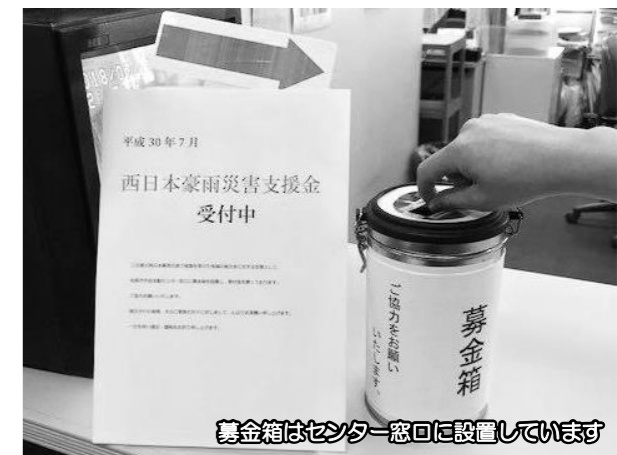
- 11月までのセンター事業のご紹介……P.1
- センターからのお知らせ……P.1
- 連載「ちょっと気になる団体さん」……P.2
- 市民活動 ぶちなび コーナー……P.2
- センター事業・イベント情報……P.3
- ブンカの交流館 PRコーナー……P.3
- インターンシップ実習生 受入報告……P.3
- 2016・2017年度CSRレポート設置……P.3
- 住民協議会について……P.3
- NPOあっぱれ大賞特典：年間情報発信コーナー……P.4
- NPO支援のためのおススメ講座情報……P.4

平成30年度 松阪市市民活動センター 9月～11月までの事業

- 9/10(月)～ NPOあっぱれ大賞ノミネート団体募集開始(10/20まで)
- 9/11(火)～ チラ-1グランプリ 2018 WEB人気投票開始(10/11まで)
- 9/29(土) おススメ講座 普通救命講習(修了証あり)
- 10/26(金) おススメ講座 モチベーションアップ講座
- 11/1(木)～ リユースPC寄贈プログラム 申請団体募集
- 11/3(土)～ NPOあっぱれ大賞 人気投票期間(11/30まで)
※11/3はセンター休館となりますが、当日は氏郷まつりに出店します。
- 11/10(土) チラ-1グランプリ 2018 結果発表会(会場:アスト津)
- 11/24(土) 住友理工 夢・街・人づくり助成金 公開プレゼンテーション
※ 事業の日程等に変更があった際はその都度、紙面やホームページなどでお知らせします。

センターからのお知らせ

西日本豪雨災害支援金募金箱設置



募金箱はセンター窓口に設置しています

この度の西日本豪雨災害で被害を受けた地域の皆さまに対する支援として、松阪市市民活動センター窓口に募金箱を設置し、支援金を募っております。集まった募金は現地の状況に応じて送付先を決定して送付します。また、11月3日(土)に開催される氏郷まつりのセンターブースにも募金箱を設置し、来場される方へ西日本豪雨災害への支援を呼びかけます。

被災地復興に大切なのは長期的かつ継続的な支援です。私たちがこの地域からできる支援、そして今後必要になる支援の方法を知ることが被災地の復興には求められます。当センターでも支援金の募集や被災支援の情報提供などを、これからも継続的に行っていきたくと考えています。

皆さまの支援をお待ちしています。

ちょっと気になる.....

団体さん

今号は... 登録No.12 歩道三重 短歌会 さんです。

五・七・五・七・七の三十一文字からなる短歌は、和歌の中でも様々な時代を通して最も詠まれてきた形式です。俳句と違い季語を必要としないため、気軽に詠むことができる短歌の魅力語るのには歩道三重短歌会の代表・伊藤典子さん。歌人、佐藤佐太郎主宰の短歌結社「歩道」の三重支部として昭和30年代に設立された同会は、短歌を愛する人たちが歌を詠むだけでなく、作品を通して交流する場にもなっています。会員は松阪を中心に県内から13名が所属。月に一度例会を開き、会員同士で持ち寄った短歌を批評鑑賞して、親睦を深めています。



代表・伊藤さん



伊藤さんの40年余の作歌活動を一冊の本にまとめた歌集『道』を寄贈いただきました！

以前は鳥羽や伊勢で例会を行っていた時期もありましたが、現在は松阪地域の会員が多いことからこの地域で例会を行っています。「松阪に短歌を愛する人が多いのは国学者、本居宣長のお膝元ということもあるのでは」と、伊藤さんは考えます。60年以上の活動歴を持つ同会、そして自身も40年以上短歌を作り続けている伊藤さんに、長く続けられる理由を聞くと「短歌は楽しい時だけでなく苦しい時や辛い時も、歌にして詠むことで思いが力に変わる。そんな短歌の魅力が自分の日常に溶け込んでいるから」と答えてくれました。また、これまで詠み続けてきた歌を、入会35年目の70歳と40年の節目に、それぞれ『多気』と『道』にまとめ、歌集として発行しています。

歩道三重短歌会では毎月松阪市市民活動センターにて例会を行っています。しかし、会員の高齢化に伴い例会に集まることができずに活動に参加できなくなる人が多く、会員数が減少しています。同会では、短歌に初めて触れる人には詠み方や文語の種類などの勉強会も考えているそうです。あなたも、今の思いを三十一文字の世界で表現してみませんか？

歩道三重 短歌会 会員募集中

TEL : 0598-51-3919 (代表・伊藤)
Mail : nonchan@mctv.ne.jp

ズムの中で自分の想いを表現する一種の「言葉遊び」です。この「言葉遊び」は現代でも演歌や歌謡曲、近年の若者文化であるラップなどにも使われており、名称や形式は変わっても歌という形で受け継がれる文化の手法としては同じだと感じます。現代の文化を交えたこの説明を受けて、取材に同席したインターンシップの学生たちも、短歌に対して親近感を覚えたようでした。短歌にあまり馴染みがないと答えていた学生たちも、少し視点を変えるだけで受け継がれる文化への間口が広がったようで、文化の継承を通じた世代間交流の一端が見えた気がしました。

センターの事業・イベント

地域で頑張るNPOの活動にあっばれ！

松阪市市民活動センター NPOあっばれ大賞2018 ノミネート団体募集

内容 この地域で頑張る市民活動団体(NPO)をより多くの人に知ってもらい、活動を褒賞して、「今後の活動の励みにしてもらおう」ことが目的のNPO応援事業です。

募集数 先着8団体 (自薦・他薦問わず)

募集期間 9月10日(月)~10月20日(土)

NPO自作チラシを「いいね！」で応援！

NPO自作チラシコンテスト チラ-1グランプリ2018 WEB人気投票

内容 三重県内で活動する市民活動団体の自作チラシのNo.1を決定するチラ-1(チラワン)グランプリ。下記日程で公式フェイスブック上にて「いいね！」による人気投票を実施します。皆さまの清き一票をお願いします！

投票期間 9月11日(火)~10月11日(木)

(主催)みえ イーパーツ リユースPC寄贈プログラム実行委員会

お申込み お問合せ reuse-mie@sub.eparts-jp.org

センター事業 イベントへのお申し込み お問い合わせ

松阪市市民活動センター

TEL...0598-26-0108
FAX...0598-25-3803
Mail...katsudou@ma.mctv.ne.jp

まちづくり型カルチャースクール

ブンカの交流館 PRコーナー 第1話

「まちの課題」ってなんでしょう？ 持っている知識・技術・資格・特技……そういった「人財」が活かされていないことも「課題」の一つではないでしょうか。持っている知識などで「講座」という場所をつくるとそこにコミュニティが生まれます。コミュニティは様々な活動が始まるきっかけにもなります。「まちづくり型カルチャースクール」ブンカの交流館は「人財」が生きる小さなコミュニティの集まりです。

インターンシップ実習生 受入報告



7月23日~26日の4日間、白山高等学校の学生4名がインターンシップとして当センターの業務を体験しました。「打ち水大作戦」参加やアロマ取材に同席するなどの業務体験を経て「学校では習わない知識や貴重な体験があった」「自分たちのような若い世代がもっと市民活動を知って、活動に参加して欲しい」と市民活動に関心を寄せるきっかけとなったようです。

2016・2017年度CSRレポート設置

2016・2017年度のCSRレポートをセンターラウンジ内「書籍の森」の本棚に設置しました！ 企業が社会問題に取り組む意義や思いを知ることで、市民活動のヒントや地域活動のパートナーが見つかるかも知れませんね。ぜひお気軽にお手にとってご覧ください。

CSRレポートとは……

「Corporate Social Responsibility」の頭文字をとったのがCSR。「企業の社会的責任」という意味です。CSRの考え方に基いて企業が行う社会的な取り組みをまとめたものが、CSRレポートです。

住民協議会について

地域には、自治会をはじめとする地縁団体の活動があり、その活動が地域を元気にしています。そのうえで、さらに公益的な活動を目指すには、自治会などの垣根を越えて、広域での連携・協力が必要になります。松阪市には、山も海もあり、その土地にはそれぞれに違った課題や要望があります。地域の課題を一番良く知っているのはその地域の住民です。その課題を解決していけるように、地域そのものを、住民が組織立って運営していくことが必要です。そのためにできたのが「住民協議会」です。自分たちが思い描く理想の地域像を、各住民協議会では「地域計画」として企画しています。松阪市の地域づくり連携課HPでもご覧いただけますので、ご自身が所属する協議会のもとより、他の協議会がどういった活動をしているのか、確認してみてください。

HPはこちらから→

住民協議会向け活動相談会随時受付中

